

種名	<u>ムクドリ</u> <u>Sturnus cineraceus</u>												
													
分類	スズメ目ムクドリ科												
特徴	<p>橙色のくちばしと白い顔が目立つ、畑に多い黒っぽい鳥。ユーラシア大陸東部で繁殖し、日本でも北海道から九州までの全国で繁殖するが、四国と九州では繁殖が局地的で少ない。冬期には積雪の多い地方のモノは、一部の個体を除いて大部分、暖地に移動する。</p>												
生活	<p>平地や盆地の人里付近に棲む鳥で樹木の点在する村落とや市街地に多い。繁殖期はつがいで生活し、本来の営巣場所は樹洞だが、人家の屋根のすき間や戸袋、巣箱などおよく利用する。芝地、畑などの地上を歩きながら、ガの幼虫などの昆虫を餌とすることが多い。また秋冬期にはムクノキ、エノキなどの木の実も好んで食べ、繁殖期が終わると群れで生活する。</p>												
声	<p>春のごく短い期間に「キーキー、コロコロ、ウギャーコンコンコンコン、キチキチキチ」などと変化に富む声で鳴くことがある。地鳴きは「キュルキュル」とか「リャーリャー」。警戒声は「ジェーッ」。</p>												
見分け方	全身は黒っぽく、顔に白い羽があり腰が白い。くちばしと脚は黄色。												
時期：寒地	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	11	-
：暖地	(月)	1	2	3	4	-	-	-	8	9	10	11	12
その他	全長(L)24cm 翼開長(W)40cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													